

リーディングDXスクール事業【実践事例】

広島市立牛田新町小学校

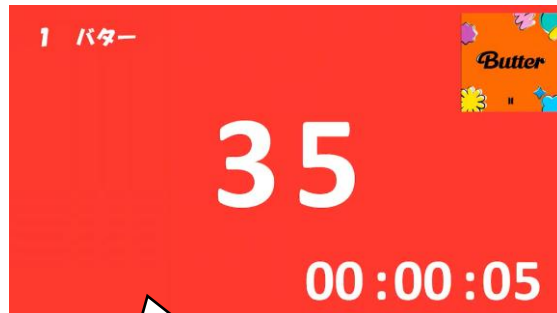
【取組内容】 第6学年 運動会の表現を子供たちが考える指導法の工夫

1 運動会の表現の考え方を变える。

従来の運動会の表現は、教師があらかじめ決めた動きに従って子供が練習をし、動きを洗練させていくものであった。これを子供たちが自分たちで動きを考え表現する場とした。

2 実際の指導

- ① 8～10人程度のグループに分ける。
- ② 1グループ40秒間の表現をすることを伝える。
- ③ 40秒の音楽動画を教師が作成する。
- ④ グループで動画を見ながら動きを決めていく



音楽とともにカウントダウンタイマーが表示されるので、曲を聞きながら、どの技をどのタイミングで表現するのかを、話し合っている。



表現する技については、インターネットで調べて自分たちの技量を鑑みながら組み合わせていく。

3 運動会当日



9グループが40秒間で表現。10秒間に入れ替えを繰り返した。運動会の様子を撮影した動画を児童と共有したが、動画を何度も繰り返し見ている児童がたくさんおり、達成感があったことが伺える。